

加太・磯ノ浦LPP

昨年度の課題認識

メンバーの加太への印象が活動において重要な要素？
計画の更なる具体化と連携強化
能動的/積極的な活動への参加と取り組み

3年目を終えて…

3年という長いスパンでの継続した活動は非常に難しかった

そのわけは???

- ・メンバー個人のスケジュールの激化
⇒モチベの継続が難しい
- ・LPP活動に対する**優先順位**の低下
- ・行政側との連携不足
- ・行政/LPP内含め、人の異動が激しい

映像で仕事している・写真が趣味
実務的な面で頼りになる・沿線住みなど
※メンバー個人の
スキル/ポテンシャルは高いのに...

大きな疑問

- ・加太が認知されることを地域は望んでいるのか？
- ・自分たちの活動は自己満足の延長線上にあるのでは？

仮に行政と連携したとして・・・
一方的な観光振興になった可能性**大**

協働が重要なポイント
⇒必要とされていたか
ここを意識していたか？

【地域との関わり方に関して】

地域の特徴

- ・加太線沿線はほぼ住宅街
- ・落ち着いた/のんびりとした雰囲気の温泉街



- ・友が島は近年注目が高まる

「加太の中でも**観光需要**が異なる」

【今後に関して】

本年度でLPP活動終了

得た学びなど・・・

- ・学生の地域との関わり方
- ・行政の事業に対する関心度合い
- ・地域から必要とされているか

行政・事業者・学生の3者の連携が結果



LPPのこれから

- ・LPP受入側との歩幅合わせ
- ・中心メンバーがどれだけ優先できるか
⇒継続性と関係の構築度が非常に重要